平成24年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年2月9日

上場会社名　フィデアホールディングス株式会社　　上場取引所　東
コード番号　8713　URL　http://www.fidea.co.jp/
代表者　(役職名) 代表執行役社長　(氏名) 里村　正治
問合せ先責任者 (役職名) 専務執行役　(氏名) 原田　儀一郎　TEL 022-290-8800

四半期報告書提出予定日　平成24年2月13日　特定取引勘定設置の有無　無
配当支払開始予定日　―
四半期決算補足説明資料作成の有無　：　有
四半期決算説明会開催の有無　：　無

(百万円未満、小数点第1位未満は切捨て)

1. 平成24年3月期第3四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第3四半期	36,382	△6.7	5,017	△6.1	2,441	△24.7
23年3月期第3四半期	39,001	55.6	5,345	148.9	3,243	121.6

(注)包括利益　24年3月期第3四半期　143百万円　(△96.3%)　23年3月期第3四半期　3,894百万円　(―%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第3四半期	17.02	13.14
23年3月期第3四半期	22.61	15.92

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第3四半期	2,329,952	55,549	2.2
23年3月期	2,213,596	56,333	2.4

(参考) 自己資本　24年3月期第3四半期　53,475百万円　23年3月期　54,196百万円

(注)「自己資本比率」は(期末純資産の部－期末少数株主持分)を期末資産の部の合計で除して算出しております。

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	―	―	5.00	5.00
24年3月期	―	―	―		
24年3月期(予想)				5.00	5.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　：　無

(注)上記「配当の状況」は、普通株式に係る配当の状況です。当社が発行する普通株式と権利関係の異なる種類株式(非上場)の配当の状況については、後述の「種類株式の配当の状況」をご覧ください。

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	経常収益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	47,500	△9.8	6,200	22.6	3,800	3.4	25.46

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　：　無

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期3Q	143,464,890 株	23年3月期	143,464,890 株
② 期末自己株式数	24年3月期3Q	5,987 株	23年3月期	4,761 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期3Q	143,459,445 株	23年3月期3Q	143,445,142 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続きの対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続きは終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。
2. 当社は、平成21年10月1日に設立したため、平成23年3月期第3四半期の対前年同四半期増減率の比較対象となる平成22年3月期第3四半期の9カ月累計実績には、株式会社北都銀行の平成22年3月期の中間連結実績は含まれておりません。

「種類株式の配当の状況」

普通株式と権利関係の異なる種類株式に係る１株当たり配当金の内訳は以下のとおりです。

B種優先株式	１株当たり配当金				
	第１四半期末	第２四半期末	第３四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	―	―	―	6.32	6.32
24年3月期	―	―	―		
24年3月期（予想）				5.88	5.88

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．サマリー情報(その他）に関する事項…… 2
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 2
(2) 四半連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 2
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 2
３．四半期連結財務諸表 …… 3
(1) 四半期連結貸借対照表 …… 3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 5
四半期連結損益計算書 …… 5
四半期連結包括利益計算書 …… 6
(3) 継続企業の前提に関する注記 …… 7
(4) 追加情報 …… 7
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 7
４．（参考）個別業績の概況（株式会社　荘内銀行）…… 8
５．（参考）個別業績の概況（株式会社　北都銀行）……11
６．四半期決算補足説明資料
平成24年３月期　第３四半期決算短信　説明資料

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第３四半期連結累計期間におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により依然厳しい状況が続いておりますが、生産活動や各種政策の効果で持ち直しの動きが見え始めております。一方で、電力供給の制約や欧州の政府債務危機等により企業業績の先行きには不透明感が漂っております。

当社グループの営業エリアにおける経済状況を見ますと、公共投資の大幅増、個人部門の震災関連特需等により、被災地以外の地域では震災前を上回る水準に回復してきているほか、被災地域でも経済活動再開の動きがみられるなど、全体として回復基調にあると言えます。このような状況下で、当社グループは復興支援に取り組みながら、第一次中期経営計画に基づいた統合効果の抽出、グループ力強化を着実に進捗させております。

当第３四半期連結累計期間の連結経営成績のうち連結経常収益は、有価証券の売却益の減少や金利低下に伴う資金運用収益の減少等により、前年同期比26億18百万円（6.7%）減少の363億82百万円となりました。一方、連結経常費用は与信関係費用の増加等があったものの、有価証券の償却や資金調達費用、営業経費等が減少し、前年同期比22億90百万円（6.8%）減少の313億64百万円となりました。その結果、連結経常利益は前年同期比３億28百万円（6.1%）減少の50億17百万円、連結四半期純利益は前年同期比８億１百万円（24.7%）減少の24億41百万円となりました。

なお、当社グループの中核的企業である子銀行のうち、荘内銀行単体の経営成績は、経常収益が前年同期比29億90百万円（15.1%）減少し167億10百万円、経常利益が前年同期比３億53百万円（13.3%）減少し22億91百万円、四半期純利益が前年同期比６億25百万円（40.8%）減少し９億７百万円となりました。一方、北都銀行単体の経営成績は、経常収益が前年同期比25百万円（0.1%）増加し173億38百万円、経常利益が前年同期比７億95百万円（35.9%）増加し30億12百万円、四半期純利益が前年同期比２億64百万円（19.6%）増加し16億５百万円となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

当社グループ連結の主要勘定残高のうち、譲渡性預金を含む総預金の当第３四半期連結会計期間末残高は、個人預金の増加等により前連結会計年度末比1,847億円（9.1%）増加の２兆1,992億円となりました。貸出金の当第３四半期連結会計期間末残高は、地元企業向け及び地方公共団体向けの貸出等が増加し、前連結会計年度末比573億円（3.9%）増加の１兆5,042億円となりました。有価証券の当第３四半期連結会計期間末残高は、前連結会計年度末比1,171億円（19.9%）増加し7,034億円となりました。

なお、当社グループの中核的企業である子銀行のうち、荘内銀行単体の総預金の当四半期末残高は前事業年度末比1,142億円（12.2%）増加し１兆450億円、貸出金の当四半期末残高は前事業年度末比356億円（4.7%）増加し7,926億円、有価証券の当四半期末残高は前事業年度末比502億円（23.6%）増加し2,626億円となりました。一方、北都銀行単体の総預金の当四半期末残高は前事業年度末比716億円（6.5%）増加し１兆1,650億円、貸出金の当四半期末残高は前事業年度末比250億円（3.6%）増加し7,174億円、有価証券の当四半期末残高は前事業年度末比670億円（17.4%）増加し4,508億円となりました。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成23年８月５日に公表いたしました連結業績予想に変更はございません。

２．サマリー情報(その他)に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成23年12月31日）
資産の部		
現金預け金	86,352	47,114
コールローン及び買入手形	40,831	19,500
買入金銭債権	5,072	5,907
商品有価証券	770	220
金銭の信託	969	1,935
有価証券	586,296	703,487
貸出金	1,446,861	1,504,205
外国為替	2,137	2,594
その他資産	10,103	11,452
有形固定資産	23,817	23,056
無形固定資産	1,467	1,359
繰延税金資産	15,427	13,722
支払承諾見返	14,792	14,166
貸倒引当金	△21,304	△18,770
資産の部合計	2,213,596	2,329,952
負債の部		
預金	1,950,216	2,069,618
譲渡性預金	64,326	129,670
コールマネー及び売渡手形	16,000	396
借用金	75,614	31,220
外国為替	17	－
社債	10,000	10,000
その他負債	22,211	15,808
賞与引当金	355	109
退職給付引当金	2,194	2,079
睡眠預金払戻損失引当金	369	272
偶発損失引当金	314	318
その他の引当金	62	64
繰延税金負債	24	11
再評価に係る繰延税金負債	762	667
支払承諾	14,792	14,166
負債の部合計	2,157,263	2,274,402

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （平成23年３月31日）	当第３四半期連結会計期間 （平成23年12月31日）
純資産の部		
資本金	15,000	15,000
資本剰余金	24,744	24,744
利益剰余金	16,764	18,332
自己株式	△0	△1
株主資本合計	56,508	58,076
その他有価証券評価差額金	△3,318	△5,703
繰延ヘッジ損益	△17	△17
土地再評価差額金	1,024	1,120
その他の包括利益累計額合計	△2,311	△4,600
少数株主持分	2,136	2,074
純資産の部合計	56,333	55,549
負債及び純資産の部合計	2,213,596	2,329,952

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
四半期連結損益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自 平成22年４月１日 至 平成22年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自 平成23年４月１日 至 平成23年12月31日）
経常収益	39,001	36,382
資金運用収益	26,231	25,173
（うち貸出金利息）	22,331	21,419
（うち有価証券利息配当金）	3,808	3,664
役務取引等収益	6,841	6,426
その他業務収益	4,290	3,182
その他経常収益	1,637	1,600
経常費用	33,655	31,364
資金調達費用	2,929	2,340
（うち預金利息）	2,406	1,941
役務取引等費用	2,025	2,011
その他業務費用	3,780	1,477
営業経費	21,866	21,717
その他経常費用	3,052	3,818
経常利益	5,345	5,017
特別利益	279	26
固定資産処分益	8	20
償却債権取立益	258	－
その他の特別利益	12	6
特別損失	112	97
固定資産処分損	53	25
減損損失	59	69
その他の特別損失	0	1
税金等調整前四半期純利益	5,512	4,947
法人税、住民税及び事業税	179	259
法人税等調整額	2,191	2,252
法人税等合計	2,370	2,512
少数株主損益調整前四半期純利益	3,142	2,434
少数株主損失（△）	△101	△7
四半期純利益	3,243	2,441

四半期連結包括利益計算書
第３四半期連結累計期間

（単位：百万円）

	前第３四半期連結累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）	当第３四半期連結累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）
少数株主損益調整前四半期純利益	3,142	2,434
その他の包括利益	752	△2,291
その他有価証券評価差額金	753	△2,386
繰延ヘッジ損益	△0	0
土地再評価差額金	－	95
四半期包括利益	3,894	143
親会社株主に係る四半期包括利益	3,998	152
少数株主に係る四半期包括利益	△103	△9

（３）継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

（４）追加情報

（会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準）

第１四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正から、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号平成21年12月４日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号平成21年12月４日）を適用しております。

なお、「金融商品会計に関する実務指針」（日本公認会計士協会会計制度委員会報告第14号）に基づき、当第３四半期連結累計期間の「償却債権取立益」は、「その他経常収益」に計上しておりますが、前第３四半期連結累計期間については遡及処理を行っておりません。

（法人税率の変更等による影響）

「経済社会の構造の変化に対応した税制の構築を図るための所得税法等の一部を改正する法律」（平成23年法律第114号）及び「東日本大震災からの復興のための施策を実施するために必要な財源の確保に関する特別措置法」（平成23年法律第117号）が平成23年12月２日に公布され、平成24年４月１日以後に開始する連結会計年度から法人税率の引下げ及び復興特別法人税の課税が行われることとなりました。

これに伴い、繰延税金資産及び繰延税金負債の計算に使用する法定実効税率は従来の40.6％から、平成24年４月１日に開始する連結会計年度から平成26年４月１日に開始する連結会計年度に解消が見込まれる一時差異等については37.9％に、平成27年４月１日に開始する連結会計年度以降に解消が見込まれる一時差異等については35.5％となります。

この税率変更により、繰延税金資産は956百万円、繰延税金負債は１百万円減少し、法人税等調整額は955百万円増加しております。また、再評価に係る繰延税金負債は95百万円減少しております。

（５）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

４．（参考）個別業績の概況（株式会社　荘内銀行）

平成24年２月９日

会　　社　　名　株式会社　荘内銀行
代　　表　　者　（役職名）取締役頭取　　（氏名）國井　英夫　URL　http://www.shonai.co.jp/
問合せ先責任者　（役職名）取締役経営企画部長　（氏名）上野　雅史　TEL　023-626-9001

（百万円未満、小数点第１位未満は切捨て）

○　平成24年３月期第３四半期の個別業績（平成23年４月１日～平成23年12月31日）

(1) 個別経営成績（累計）　（%表示は対前年同四半期増減率）

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年３月期第３四半期	16,710	△15.1	2,291	△13.3	907	△40.8
23年３月期第３四半期	19,701	17.0	2,644	107.5	1,533	139.9

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年３月期第３四半期	1,119,120	35,680	3.1
23年３月期	1,061,535	35,085	3.3

（参考）自己資本　　24年３月期第３四半期　35,680百万円　　23年３月期　35,085百万円

（注）「自己資本比率」は、期末純資産の部合計を期末資産の部の合計で除して算出しております。

○　四半期個別財務諸表（株式会社　荘内銀行）

(1) 四半期貸借対照表

（単位：百万円）

	前事業年度末に係る要約貸借対照表（平成23年３月31日）	当第３四半期会計期間末（平成23年12月31日）
資産の部		
現金預け金	46,281	25,438
コールローン	20,831	13,000
買入金銭債権	1,021	1,360
商品有価証券	97	42
金銭の信託	969	957
有価証券	212,449	262,660
貸出金	756,958	792,645
外国為替	1,114	1,416
その他資産	3,818	4,289
有形固定資産	12,233	12,134
無形固定資産	561	470
繰延税金資産	6,520	5,353
支払承諾見返	5,148	5,280
貸倒引当金	△6,471	△5,929
資産の部合計	1,061,535	1,119,120
負債の部		
預金	897,398	988,511
譲渡性預金	33,354	56,514
コールマネー	16,000	396
借用金	54,100	17,520
外国為替	4	―
社債	10,000	10,000
その他負債	8,674	3,398
退職給付引当金	812	950
睡眠預金払戻損失引当金	104	106
偶発損失引当金	89	95
再評価に係る繰延税金負債	762	667
支払承諾	5,148	5,280
負債の部合計	1,026,450	1,083,440
純資産の部		
資本金	7,000	7,000
資本剰余金	18,808	18,808
利益剰余金	12,576	12,876
株主資本合計	38,384	38,685
その他有価証券評価差額金	△4,306	△4,107
繰延ヘッジ損益	△17	△17
土地再評価差額金	1,024	1,120
評価・換算差額等合計	△3,299	△3,005
純資産の部合計	35,085	35,680
負債及び純資産の部合計	1,061,535	1,119,120

(2) 四半期損益計算書

【第３四半期累計期間】

（単位：百万円）

	前第３四半期累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）	当第３四半期累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）
経常収益	19,701	16,710
資金運用収益	12,776	12,758
（うち貸出金利息）	11,259	11,068
（うち有価証券利息配当金）	1,480	1,669
役務取引等収益	3,221	2,866
その他業務収益	2,963	673
その他経常収益	739	412
経常費用	17,056	14,419
資金調達費用	1,598	1,428
（うち預金利息）	1,254	1,077
役務取引等費用	1,451	1,414
その他業務費用	3,188	244
営業経費	10,122	9,974
その他経常費用	695	1,358
経常利益	2,644	2,291
特別利益	100	0
貸倒引当金戻入益	97	―
固定資産処分益	0	0
償却債権取立益	2	―
特別損失	5	―
固定資産処分損	1	―
減損損失	4	―
税引前四半期純利益	2,739	2,292
法人税、住民税及び事業税	65	63
法人税等調整額	1,141	1,321
法人税等合計	1,206	1,384
四半期純利益	1,533	907

５．（参考）個別業績の概況（株式会社　北都銀行）

平成24年２月９日

会　　社　　名　株式会社　北都銀行
代　　表　　者　（役職名）取締役頭取　　（氏名）斉藤　永吉　URL　http://www.hokutobank.co.jp/
問合せ先責任者　（役職名）経営企画部長　（氏名）伊藤　新　　TEL　018-833-4211

（百万円未満、小数点第１位未満は切捨て）

○　平成24年３月期第３四半期の個別業績（平成23年４月１日～平成23年12月31日）

(1) 個別経営成績（累計）　（%表示は対前年同四半期増減率）

	経常収益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年３月期第３四半期	17,338	0.1	3,012	35.9	1,605	19.6
23年３月期第３四半期	17,312	△7.7	2,216	39.0	1,341	25.0

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年３月期第３四半期	1,228,578	34,600	2.8
23年３月期	1,167,725	35,894	3.0

（参考）自己資本　　24年３月期第３四半期　34,600百万円　　23年３月期　35,894百万円

（注）「自己資本比率」は、期末純資産の部合計を期末資産の部の合計で除して算出しております。

○　四半期個別財務諸表（株式会社　北都銀行）

(1) 四半期貸借対照表

（単位：百万円）

	前事業年度末に係る要約貸借対照表（平成23年３月31日）	当第３四半期会計期間末（平成23年12月31日）
資産の部		
現金預け金	39,920	21,557
コールローン	20,000	6,500
買入金銭債権	1,571	2,349
商品有価証券	672	177
金銭の信託	―	977
有価証券	383,769	450,829
貸出金	692,432	717,447
外国為替	1,023	1,178
その他資産	5,463	6,284
有形固定資産	14,496	13,905
無形固定資産	250	329
繰延税金資産	7,824	7,678
支払承諾見返	9,671	8,909
貸倒引当金	△8,060	△8,087
投資損失引当金	△1,310	△1,460
資産の部合計	1,167,725	1,228,578
負債の部		
預金	1,060,100	1,089,615
譲渡性預金	33,272	75,455
借用金	21,500	13,700
外国為替	13	―
その他負債	4,781	4,348
賞与引当金	283	71
退職給付引当金	5	―
睡眠預金払戻損失引当金	265	165
偶発損失引当金	225	223
再評価に係る繰延税金負債	1,711	1,487
支払承諾	9,671	8,909
負債の部合計	1,131,830	1,193,977
純資産の部		
資本金	11,000	11,000
資本剰余金	18,499	18,499
利益剰余金	1,660	3,022
株主資本合計	31,160	32,521
その他有価証券評価差額金	2,644	△211
土地再評価差額金	2,089	2,290
評価・換算差額等合計	4,734	2,078
純資産の部合計	35,894	34,600
負債及び純資産の部合計	1,167,725	1,228,578

(2) 四半期損益計算書

【第３四半期累計期間】

（単位：百万円）

	前第３四半期累計期間 （自　平成22年４月１日 至　平成22年12月31日）	当第３四半期累計期間 （自　平成23年４月１日 至　平成23年12月31日）
経常収益	17,312	17,338
資金運用収益	13,262	12,415
（うち貸出金利息）	10,431	9,978
（うち有価証券利息配当金）	2,775	2,370
役務取引等収益	2,848	2,847
その他業務収益	972	1,441
その他経常収益	229	633
経常費用	15,095	14,325
資金調達費用	1,330	909
（うち預金利息）	1,152	864
役務取引等費用	815	830
その他業務費用	229	480
営業経費	11,007	11,080
その他経常費用	1,712	1,024
経常利益	2,216	3,012
特別利益	152	25
固定資産処分益	8	19
償却債権取立益	144	―
その他の特別利益	―	5
特別損失	88	92
固定資産処分損	54	24
減損損失	33	68
税引前四半期純利益	2,281	2,945
法人税、住民税及び事業税	20	21
法人税等調整額	919	1,318
法人税等合計	939	1,339
四半期純利益	1,341	1,605

６．四半期決算補足説明資料

平成 24 年３月期　第３四半期決算短信　説明資料

１．損益の状況

（１）フィデアホールディングス【連結】

平成24年３月期第３四半期の連結経常収益は前年同期比26億18百万円減少の363億82百万円（前年同期比6.7%減少）となりました。
また、連結経常利益は前年同期比３億28百万円減少の50億17百万円（同6.1%減少）、連結四半期純利益は前年同期比８億１百万円減少の24億41百万円（同24.7%減少）となりました。

（単位：百万円）

		平成24年３月期 第３四半期（９ヵ月累計）(A)	平成23年３月期 第３四半期（９ヵ月累計）(B)	前年同四半期対比 (A)－(B)	（参考）平成24年３月期通期予想値
連結経常収益	1	36,382	39,001	△ 2,618	47,500
連結粗利益	2	28,952	28,627	325	
資金利益	3	22,833	23,302	△ 469	
役務取引等利益	4	4,414	4,815	△ 400	
その他業務利益	5	1,704	509	1,195	
営業経費	6	21,717	21,866	△ 149	
その他経常損益	7	△ 2,217	△ 1,415	△ 802	
①うち一般貸倒引当金繰入額	8	7	△ 529	536	
②うち不良債権処理額	9	2,766	2,643	123	
③うち貸倒引当金戻入益	10	―	―――	―――	
④うち償却債権取立益	11	218	―――	―――	
うち株式等関係損益	12	△ 528	59	△ 588	
連結経常利益	13	5,017	5,345	△ 328	6,200
特別損益	14	△ 70	167	△ 237	
③うち貸倒引当金戻入益	15	―――	―	―――	
④うち償却債権取立益	16	―――	258	―――	
税金等調整前四半期純利益	17	4,947	5,512	△ 565	
法人税、住民税及び事業税	18	259	179	80	
法人税等調整額	19	2,252	2,191	61	
法人税等合計	20	2,512	2,370	141	
少数株主損益調整前四半期純利益	21	2,434	3,142	△ 707	
少数株主損益	22	△ 7	△ 101	93	
連結四半期純利益	23	2,441	3,243	△ 801	3,800

与信関係費用（①＋②－③－④）	24	2,555	1,855	700

（注）１．記載金額は単位未満を切り捨てて表示しております。
２．企業会計基準第 24 号「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」及び会計制度委員会報告第 14 号「金融商品会計に関する実務指針」の適用により、平成 24 年３月期第３四半期の「償却債権取立益」は、「その他経常損益」に計上しております。
３．当連結会計年度より与信関係費用を記載し、前年同期についても同様に記載しております。

（２）２行合算【単体】

（単位：百万円）

		平成24年３月期 第３四半期（９ヵ月累計）(A)	平成23年３月期 第３四半期（９ヵ月累計）(B)	前年同四半期対比 (A)－(B)
経常収益	1	34,048	37,014	△ 2,965
業務粗利益	2	27,697	27,434	262
（除く国債等債券損益）＝コア業務粗利益	3	(25,978)	(27,145)	(△ 1,167)
資金利益	4	22,838	23,113	△ 275
役務取引等利益	5	3,469	3,802	△ 333
その他業務利益	6	1,389	518	871
（うち国債等債券損益）	7	(1,718)	(288)	(1,430)
経費（除く臨時処理分）	8	20,561	20,930	△ 368
人件費	9	9,701	9,871	△ 169
物件費	10	9,875	10,026	△ 151
税金	11	984	1,032	△ 48
業務純益（一般貸倒引当金繰入前）	12	7,135	6,503	631
除く国債等債券損益＝コア業務純益	13	5,416	6,215	△ 798
①一般貸倒引当金繰入額	14	△ 164	△ 618	454
業務純益	15	7,299	7,121	177
臨時損益	16	△ 1,995	△ 2,260	264
②不良債権処理額	17	1,708	1,526	181
貸出金償却	18	5	21	△ 15
個別貸倒引当金繰入額	19	1,568	1,332	236
バルクセール売却損	20	5	25	△ 19
その他の不良債権処理額	21	128	147	△ 18
③貸倒引当金戻入益	22	―	―――	―――
④償却債権取立益	23	125	―――	―――
株式等関係損益	24	68	231	△ 163
その他臨時損益	25	△ 480	△ 965	485
経常利益	26	5,304	4,861	442
特別損益	27	△ 66	159	△ 225
③うち貸倒引当金戻入益	28	―――	97	―――
④うち償却債権取立益	29	―――	146	―――
税引前四半期純利益	30	5,237	5,020	216
法人税、住民税及び事業税	31	84	85	△ 0
法人税等調整額	32	2,639	2,060	579
法人税等合計	33	2,724	2,146	578
四半期純利益	34	2,512	2,874	△ 361

与信関係費用（①＋②－③－④）	35	1,419	664	755

（３）子銀行【単体】

○　荘内銀行

平成24年３月期第３四半期の経常収益は前年同期比29億90百万円減少の167億10百万円（前年同期比15.1%減少）となりました。
また、与信関連費用の増加等により、経常利益は前年同期比３億53百万円減少の22億91百万円（同13.3%減少）、四半期純利益は前年同期比６億25百万円減少の９億７百万円（同40.8%減少）となりました。

（単位：百万円）

		平成24年３月期 第３四半期（９ヵ月累計） (A)	平成23年３月期 第３四半期（９ヵ月累計） (B)	前年同四半期対比 (A)－(B)	（参考） 平成24年３月期 通期予想値
経常収益	1	16,710	19,701	△ 2,990	22,000
業務粗利益	2	13,212	12,724	488	
（除く国債等債券損益）＝コア業務粗利益	3	(12,883)	(13,056)	(△ 173)	
資金利益	4	11,331	11,179	152	
役務取引等利益	5	1,452	1,769	△ 317	
その他業務利益	6	428	△ 224	653	
（うち国債等債券損益）	7	(329)	(△ 332)	(661)	
経費（除く臨時処理分）	8	9,751	9,943	△ 192	
人件費	9	4,899	4,863	36	
物件費	10	4,403	4,631	△ 227	
税金	11	447	448	△ 0	
業務純益（一般貸倒引当金繰入前）	12	3,461	2,780	680	
除く国債等債券損益＝コア業務純益	13	3,132	3,112	19	
①一般貸倒引当金繰入額	14	70	―	70	
業務純益	15	3,391	2,780	610	
臨時損益	16	△ 1,099	△ 135	△ 964	
②不良債権処理額	17	778	97	680	
貸出金償却	18	0	21	△ 21	
個別貸倒引当金繰入額	19	730	―	730	
バルクセール売却損	20	6	25	△ 19	
その他の不良債権処理額	21	41	50	△ 8	
③貸倒引当金戻入益	22	―	―――	―――	
④償却債権取立益	23	0	―――	―――	
株式等関係損益	24	△ 221	222	△ 444	
その他臨時損益	25	△ 100	△ 260	160	
経常利益	26	2,291	2,644	△ 353	2,900
特別損益	27	0	94	△ 93	
③うち貸倒引当金戻入益	28	―――	97	―――	
④うち償却債権取立益	29	―――	2	―――	
税引前四半期純利益	30	2,292	2,739	△ 447	
法人税、住民税及び事業税	31	63	65	△ 1	
法人税等調整額	32	1,321	1,141	180	
法人税等合計	33	1,384	1,206	178	
四半期純利益	34	907	1,533	△ 625	1,600

与信関係費用（①＋②－③－④）	35	847	△ 2	850

○　北都銀行

平成24年３月期第３四半期の経常収益は、前年同期比25百万円増加の173億38百万円（前年同期比0.1%増加）となりました。
また、資金利益が減少したものの、その他業務利益の増加や個別貸倒引当金繰入額減少等により、経常利益は前年同期比７億95百万円増加の30億12百万円（同35.9%増加）、四半期純利益は前年同期比２億64百万円増加の16億５百万円（同19.6%増加）となりました。

（単位：百万円）

		平成24年３月期 第３四半期（９ヵ月累計）(A)	平成23年３月期 第３四半期（９ヵ月累計）(B)	前年同四半期対比 (A)－(B)	（参考）平成24年３月期通期予想値
経常収益	1	17,338	17,312	25	23,000
業務粗利益	2	14,484	14,710	△ 225	
（除く国債等債券損益）＝コア業務粗利益	3	(13,094)	(14,089)	(△ 994)	
資金利益	4	11,506	11,934	△ 427	
役務取引等利益	5	2,017	2,032	△ 15	
その他業務利益	6	960	742	217	
（うち国債等債券損益）	7	(1,389)	(620)	(769)	
経費（除く臨時処理分）	8	10,810	10,986	△ 176	
人件費	9	4,802	5,007	△ 205	
物件費	10	5,471	5,394	76	
税金	11	536	583	△ 47	
業務純益（一般貸倒引当金繰入前）	12	3,674	3,723	△ 48	
除く国債等債券損益＝コア業務純益	13	2,284	3,102	△ 818	
①一般貸倒引当金繰入額	14	△ 234	△ 618	384	
業務純益	15	3,908	4,341	△ 432	
臨時損益	16	△ 895	△ 2,124	1,228	
②不良債権処理額	17	930	1,429	△ 498	
貸出金償却	18	5	0	5	
個別貸倒引当金繰入額	19	838	1,332	△ 494	
バルクセール売却損	20	△ 0	△ 0	△ 0	
その他の不良債権処理額	21	86	96	△ 10	
③貸倒引当金戻入益	22	―	―――	―――	
④償却債権取立益	23	124	―――	―――	
株式等関係損益	24	289	9	280	
その他臨時損益	25	△ 379	△ 704	325	
経常利益	26	3,012	2,216	795	3,100
特別損益	27	△ 67	64	△ 131	
③うち貸倒引当金戻入益	28	―――	―	―――	
④うち償却債権取立益	29	―――	144	―――	
税引前四半期純利益	30	2,945	2,281	664	
法人税、住民税及び事業税	31	21	20	1	
法人税等調整額	32	1,318	919	399	
法人税等合計	33	1,339	939	400	
四半期純利益	34	1,605	1,341	264	1,900

与信関係費用（①＋②－③－④）	35	571	666	△ 95

２．金融再生法開示債権の状況【単体】

◆ 荘内銀行の金融再生法開示債権比率（単体）は平成23年３月末比0.37ポイント増加の2.88%（平成22年12月末比0.97ポイント増加）となりました。
同行は部分直接償却を実施しておりませんが、実施した場合の金融再生法開示債権比率は2.60%となります。
◆ 北都銀行の金融再生法開示債権比率（単体）は平成23年３月末比0.17ポイント増加の2.85%（同0.18ポイント増加）となりました。

（１）２行合算

（単位：百万円）

	平成23年12月末	平成22年12月末	平成23年３月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	8,696	10,279	10,496
危険債権	19,138	16,293	19,599
要管理債権	16,327	6,898	8,229
合計 (A)	44,161	33,472	38,325
正常債権	1,493,480	1,434,545	1,438,295
総与信 (B)	1,537,642	1,468,018	1,476,620
総与信に占める割合 (A)÷(B)	2.87%	2.28%	2.59%

（注）１．上記計数は、(2)に記載の各子銀行の計数を単純合算しております。
２．荘内銀行は部分直接償却を実施しておりませんが、実施した場合の金融再生法開示債権比率（２行合算）は2.72%となります。

（２）子銀行

○ 荘内銀行

（単位：百万円）

	平成23年12月末	平成22年12月末	平成23年３月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	5,474	6,383	6,289
危険債権	6,454	5,010	6,637
要管理債権	11,424	3,273	6,531
合計 (A)	23,352	14,668	19,458
正常債権	786,063	751,625	753,447
総与信 (B)	809,415	766,294	772,905
総与信に占める割合 (A)÷(B)	2.88%	1.91%	2.51%

（注）１．上記計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第４条に規定する各債権のカテゴリーにより分類しております。
２．また、同計数は各四半期末（事業年度末）を基準日として、荘内銀行の定める自己査定基準に基づき自己査定を行い算出しております。
なお、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」の金額のうち、無価値と認められる部分について直接償却（部分直接償却）は実施しておりません。

○ 北都銀行

（単位：百万円）

	平成23年12月末	平成22年12月末	平成23年３月末
破産更生債権及びこれらに準ずる債権	3,221	3,896	4,206
危険債権	12,684	11,283	12,961
要管理債権	4,903	3,624	1,697
合計 (A)	20,809	18,804	18,866
正常債権	707,416	682,919	684,848
総与信 (B)	728,226	701,724	703,714
総与信に占める割合 (A)÷(B)	2.85%	2.67%	2.68%

（注）１．上記計数は、「金融機能の再生のための緊急措置に関する法律施行規則」第４条に規定する各債権のカテゴリーにより分類しております。
２．また、同計数は各四半期末（事業年度末）を基準日として、北都銀行の定める自己査定基準に基づき自己査定を行い算出しております。
なお、「破産更生債権及びこれらに準ずる債権」の金額のうち、無価値と認められる部分については直接償却相当額として当該金額を減額（部分直接償却）しております。

３．時価のある有価証券の評価差額【連結】【単体】

（単位：百万円）

		平成23年12月末				平成23年３月末			
		時価	評価差額			時価	評価差額		
				うち益	うち損			うち益	うち損
フィデアＨＤ【連結】	その他有価証券	700,301	△ 5,672	6,578	12,251	582,415	△ 2,721	5,969	8,691
	株式	16,687	△ 3,150	610	3,761	16,597	△ 424	1,043	1,468
	債券	608,918	5,418	5,461	43	493,440	2,211	3,732	1,521
	その他	74,695	△ 7,941	505	8,447	72,377	△ 4,508	1,193	5,701
２行合算【単体】	その他有価証券	700,190	△ 4,302	8,400	12,703	582,268	△ 306	9,435	9,741
	株式	16,577	△ 2,314	754	3,068	16,450	789	2,108	1,318
	債券	608,918	6,880	6,921	40	493,440	4,144	5,660	1,516
	その他	74,695	△ 8,868	725	9,593	72,377	△ 5,240	1,667	6,907
荘内銀行【単体】	その他有価証券	260,193	△ 4,091	3,852	7,943	209,334	△ 4,133	2,842	6,975
	株式	10,030	△ 1,319	471	1,790	8,274	△ 202	621	823
	債券	218,199	3,160	3,179	19	166,780	858	1,795	936
	その他	31,962	△ 5,932	201	6,133	34,278	△ 4,789	425	5,215
北都銀行【単体】	その他有価証券	439,997	△ 211	4,548	4,760	372,933	3,826	6,592	2,765
	株式	6,546	△ 995	283	1,278	8,175	992	1,486	494
	債券	390,718	3,719	3,741	21	326,660	3,285	3,864	579
	その他	42,732	△ 2,935	523	3,459	38,098	△ 451	1,241	1,692

（注）１．有価証券について記載しております。
２．「評価差額」及び「評価損益」は、取得原価（償却原価適用後、減損処理後。）と時価との差額を計上しております。
３．株式については、決算日前１ヵ月の市場価格の平均に基づいて算定された価額を、また、それ以外については、決算日における市場価格等に基づく価額を時価としております。
４．変動利付国債については、昨今の市場環境を踏まえた検討の結果、引続き市場価格を時価としてみなせない状況であると判断し、経営者の合理的な見積りに基づく合理的に算定された価額を時価としております。
　変動利付国債の合理的に算定された価額は、国債の利回り等から見積もった将来キャッシュ・フローを、同利回りに基づく割引率を用いて割り引いた価額であり、国債の利回り及び同利回りのボラティリティが主な価格決定変数であります。
５．なお、満期保有目的の債券及び時価のある子会社・関連会社株式は該当ありません。

４．預金、貸出金等の状況【単体】

（１）預金等（含む譲渡性預金）

◆ 荘内銀行の平成23年12月末における預金等の残高は平成23年３月末比1,142億72百万円増加の１兆450億25百万円（平成22年12月末比946億65百万円増加）となりました。
◆ 北都銀行の平成23年12月末における預金等の残高は平成23年３月末比716億98百万円増加の１兆1,650億71百万円（同326億17百万円増加）となりました。

（単位：百万円）

		平成23年12月末	平成22年12月末	平成23年３月末
２行合算	預金等（含む譲渡性預金）	2,210,097	2,082,814	2,024,126
	うち個人預金	1,559,717	1,490,202	1,491,946
荘内銀行	預金等（含む譲渡性預金）	1,045,025	950,360	930,753
	うち個人預金	731,775	672,748	675,156
北都銀行	預金等（含む譲渡性預金）	1,165,071	1,132,453	1,093,373
	うち個人預金	827,941	817,454	816,790

（２）貸出金

◆ 荘内銀行の平成23年12月末における貸出金の残高は平成23年３月末比356億86百万円増加の7,926億45百万円（平成22年12月末比452億９百万円増加）となりました。
◆ 北都銀行の平成23年12月末における貸出金の残高は平成23年３月末比250億15百万円増加の7,174億47百万円（同285億14百万円増加）となりました。

（単位：百万円）

		平成23年12月末	平成22年12月末	平成23年３月末
２行合算	貸出金	1,510,093	1,436,369	1,449,390
	うち消費者ローン残高	502,488	499,471	500,171
	うち住宅ローン残高	452,051	447,259	448,013
荘内銀行	貸出金	792,645	747,436	756,958
	うち消費者ローン残高	312,893	312,168	312,593
	うち住宅ローン残高	293,367	291,829	292,300
北都銀行	貸出金	717,447	688,932	692,432
	うち消費者ローン残高	189,595	187,303	187,578
	うち住宅ローン残高	158,684	155,430	155,712

５．投資信託及び公共債の預かり残高、生命保険の販売累計額【単体】

◆ 荘内銀行の平成23年12月末における投資信託の預かり残高は平成23年３月末比192億59百万円減少の704億92百万円（平成22年12月末比221億31百万円減少）となる一方、生命保険の販売累計額は平成23年３月末比191億19百万円増加の1,562億84百万円（同240億２百万円増加）となりました。

◆ 北都銀行の平成23年12月末における投資信託の預かり残高は平成23年３月末比75億60百万円減少の384億17百万円（同113億19百万円減少）となる一方、生命保険の販売累計額は平成23年３月末比184億44万円増加の1,207億３百万円（同249億21百万円増加）となりました。

（単位：百万円）

		平成23年12月末	平成22年12月末	平成23年３月末
２行合算	投資信託	108,909	142,360	135,730
	公共債（国債等）	43,966	53,300	50,704
	生命保険	276,988	228,064	239,424
	うち個人年金保険	194,153	175,991	180,738
	うち一時払い終身保険	82,834	52,072	58,685
荘内銀行	投資信託	70,492	92,623	89,752
	公共債（国債等）	12,300	14,976	14,911
	生命保険	156,284	132,282	137,164
	うち個人年金保険	109,952	101,699	103,841
	うち一時払い終身保険	46,331	30,582	33,323
北都銀行	投資信託	38,417	49,737	45,977
	公共債（国債等）	31,666	38,323	35,793
	生命保険	120,703	95,782	102,259
	うち個人年金保険	84,201	74,292	76,897
	うち一時払い終身保険	36,502	21,489	25,361

（注）生命保険は、販売累計額を記載しております。

平成 24 年２月９日

各　　位

フィデアホールディングス株式会社
株 式 会 社　荘 内 銀 行
株 式 会 社　北 都 銀 行

平成 24 年 3 月期（平成 23 年度）第３四半期決算概要について

フィデアホールディングス株式会社（本社：仙台市、社長：里村 正治、以下「フィデアＨＤ」）は、平成 24 年３月期（平成 23 年度）第３四半期連結業績等の概要と、株式会社荘内銀行（本店：山形県鶴岡市、頭取：國井 英夫、以下「荘内銀行」）及び株式会社北都銀行（本店：秋田市、頭取：斉藤 永吉、以下「北都銀行」）の単体業績につきまして、下記の通りお知らせいたします。

記

1. フィデアＨＤ

(1) 平成 24 年３月期第３四半期（平成 23 年４月１日～平成 23 年 12 月 31 日）連結業績

業容は順調に拡大。譲渡性預金を含む預金等残高は個人預金を中心に増加し、前年同期末比 1,254 億円（6.0%）増加の２兆 1,992 億円。貸出金残高は事業性貸出、地方公共団体向け貸出を中心に増加し、前年同期末比 701 億円（4.8%）増加の１兆 5,042 億円。

経常収益は有価証券関連収益や利回り低下に伴う資金運用収益の減少等で前年同期比減収。利益面は、連結粗利益が前年同期比増益となったものの、上半期までに実施した震災対応に伴う与信関係費用の増加、税制改正等に伴う繰延税金資産の取り崩し等で経常利益、四半期純利益ともに減益。

２行（単体）合算の金融再生法開示債権比率は震災の影響を織り込んだこと等により前年同期末比 0.59 ポイント上昇し 2.87%。

			番号	フィデアHD	前年同期(末)実績	前年同期(末)比	同増減率
【連結】	損益	経常収益	(1)	36,382 百万円	39,001 百万円	△ 2,618 百万円	△ 6.7 %
		連結粗利益	(2)	28,952 百万円	28,627 百万円	325 百万円	1.1 %
		経常利益	(3)	5,017 百万円	5,345 百万円	△ 328 百万円	△ 6.1 %
		四半期純利益	(4)	2,441 百万円	3,243 百万円	△ 801 百万円	△ 24.7 %
	主要勘定残高（末残）	総資産	(5)	23,299 億円	22,175 億円	1,124 億円	5.0 %
		預金等(譲渡性預金を含む)	(6)	21,992 億円	20,737 億円	1,254 億円	6.0 %
		貸出金	(7)	15,042 億円	14,340 億円	701 億円	4.8 %
		有価証券	(8)	7,034 億円	6,428 億円	605 億円	9.4 %
【合算】	不良債権	金融再生法開示債権額	(9)	44,161 百万円	33,472 百万円	10,689 百万円	31.9 %
		総与信に占める割合	(10)	2.87 %	2.28 %	0.59 %	

(2) 平成 24 年３月期 通期 連結業績予想

フィデアＨＤの平成 24 年３月期通期連結業績は、資金運用収益の減少を見込む一方、与信関係費用の減少や統合効果の抽出に努め、増益となる計画。

		番号	通期	前期比	同増減率
フィデアHD(連結)	経常収益	(11)	47,500 百万円	△ 5,217 百万円	△ 9.8 %
	経常利益	(12)	6,200 百万円	1,146 百万円	22.6 %
	当期純利益	(13)	3,800 百万円	125 百万円	3.4 %

※平成 24 年３月期の普通株式の配当は、期末配当１株当たり５円（年間５円）を計画。

（次ページへ）

2. 荘内銀行

(1) 平成 24 年３月期第３四半期（平成 23 年４月１日～平成 23 年 12 月 31 日）単体業績

経常収益は有価証券関連収益や役務取引等収益の減少等により前年同期比減収。経常利益、四半期純利益は資金利益の増加や経費の減少があったものの、与信関係費用の増加等で減益。

譲渡性預金を含む預金等残高は個人預金を中心に増加し、前年同期末比 946 億円（9.9%）増加の１兆 450 億円と、四半期末残高として初めて１兆円を超え、業容は順調に拡大。貸出金残高は事業性貸出、地方公共団体向け貸出等が増加し、前年同期末比 452 億円（6.0%）増加の 7,926 億円となった。

金融再生法開示債権額は、震災の影響により住宅ローン等の条件変更に丁寧に対応したことから前年同期末比 86 億円増加。総与信に占める割合は、当中間期末比では 0.10 ポイント低下したものの、前年同期末比では 0.97 ポイント上昇して 2.88%。

			番号	荘内銀行	前年同期(末)実績	前年同期(末)比	同増減率
【単体】	損益	経常収益	(14)	16,710 百万円	19,701 百万円	△ 2,990 百万円	△ 15.1 %
		業務純益	(15)	3,391 百万円	2,780 百万円	610 百万円	21.9 %
		コア業務純益*	(16)	3,132 百万円	3,112 百万円	19 百万円	0.6 %
		経常利益	(17)	2,291 百万円	2,644 百万円	△ 353 百万円	△ 13.3 %
		四半期純利益	(18)	907 百万円	1,533 百万円	△ 625 百万円	△ 40.8 %
	主要勘定残高（末残）	預金等(含む譲渡性預金)	(19)	10,450 億円	9,503 億円	946 億円	9.9 %
		貸出金	(20)	7,926 億円	7,474 億円	452 億円	6.0 %
		有価証券	(21)	2,626 億円	2,255 億円	371 億円	16.4 %
	不良債権	金融再生法開示債権額	(22)	23,352 百万円	14,668 百万円	8,684 百万円	59.2 %
		総与信に占める割合	(23)	2.88 %	1.91 %	0.97 %	

*コア業務純益 ＝ 業務純益 － 国債等債券損益(5勘定尻) ＋ 一般貸倒引当金純繰入額

(2) 平成 24 年３月期 通期 単体業績予想

荘内銀行の平成 24 年３月期通期単体業績は、有価証券関連収益の減少を見込む一方、業容拡大や経費削減に引き続き取り組むことにより、経常利益、当期純利益ともに増益となる計画。

		番号	通期	前期比	同増減率
荘内銀行(単体)	経常収益	(24)	22,000 百万円	△ 3,264 百万円	△ 12.9 %
	経常利益	(25)	2,900 百万円	378 百万円	15.0 %
	当期純利益	(26)	1,600 百万円	194 百万円	13.8 %

(次ページへ)

3. 北都銀行

(1) 平成 24 年３月期第３四半期（平成 23 年４月１日～平成 23 年 12 月 31 日）単体業績

経常収益は利回りの低下により資金運用収益が減少したものの、有価証券関連収益が増加したことを主因に増収。経常利益、四半期純利益は資金調達費用のほか、経費や与信関係費用の減少等により増益。第３四半期の経常利益、四半期純利益としては四半期決算開示を開始した平成 16 年以来最高益。

譲渡性預金を含む預金等残高は個人預金、法人預金を中心に増加し、前年同期末比 326 億円（2.8%）増加の１兆 1,650 億円と、業容は引き続き順調に拡大。貸出金残高は震災復旧支援資金等法人向け貸出や個人ローン、地方公共団体向けが増加し、前年同期末比 285 億円（4.1%）増加の 7,174 億円。

金融再生法開示債権額は前年同期末比 20 億円増加、総与信に占める割合は前年同期比 0.18 ポイント上昇し 2.85%。引き続き、取引先に対する積極的な経営支援活動に取り組む。

			番号	北都銀行	前年同期(末)実績	前年同期(末)比	同増減率
【単体】	損益	経常収益	(27)	17,338 百万円	17,312 百万円	25 百万円	0.1 %
		業務純益	(28)	3,908 百万円	4,341 百万円	△ 432 百万円	△ 9.9 %
		コア業務純益*	(29)	2,284 百万円	3,102 百万円	△ 818 百万円	△ 26.3 %
		経常利益	(30)	3,012 百万円	2,216 百万円	795 百万円	35.9 %
		四半期純利益	(31)	1,605 百万円	1,341 百万円	264 百万円	19.6 %
	主要勘定残高（末残）	預金等(含む譲渡性預金)	(32)	11,650 億円	11,324 億円	326 億円	2.8 %
		貸出金	(33)	7,174 億円	6,889 億円	285 億円	4.1 %
		有価証券	(34)	4,508 億円	4,269 億円	238 億円	5.5 %
	不良債権	金融再生法開示債権額	(35)	20,809 百万円	18,804 百万円	2,004 百万円	10.6 %
		総与信に占める割合	(36)	2.85 %	2.67 %	0.18 %	

*コア業務純益 ＝ 業務純益 － 国債等債券損益(5勘定尻) ＋ 一般貸倒引当金純繰入額

(2) 平成 24 年３月期 通期 単体業績予想

北都銀行の平成 24 年３月期通期単体業績は、業容の順調な拡大、預り資産販売手数料の増強、経費削減及び与信関係費用の減少等により増益となる計画。

		番号	通期	前期比	同増減率
北都銀行(単体)	経常収益	(37)	23,000 百万円	△ 964 百万円	△ 4.0 %
	経常利益	(38)	3,100 百万円	1,099 百万円	54.9 %
	当期純利益	(39)	1,900 百万円	487 百万円	34.5 %

以　上

【本件に関するお問い合わせ先（報道関係）】
フィデアホールディングス　ＩＲグループ
大石　TEL：018-833-4211
佐藤　TEL：023-626-9006

くわしくは、「平成 24 年３月期 第３四半期 決算短信〔日本基準〕(連結)」をご参照ください。